

凡例... 同日(日程) 会場・場所、内容、対象・定員、講師、出演、費用(記載の無い場合は無料) 持ち物、申し込み、問い合わせ

くらしの情報ガイド

募集

新設メンタルサポートセンター施設長
関心の病いのかたへの地域生活と社会復帰支援の管理責任者 年齢不問、Eメールができるかた。精神保健福祉士資格所持者歓迎 回 障害福祉課(☎38-2043)

お知らせ

「芦屋メンタルサポートセンター」の建設について
芦屋家族会 会長・豊田 ☎25-2201 であり、呉川町コープ 浜芦屋店南隣の市土地開発公社所有地に「芦屋メンタルサポートセンター」の建設を予定しています。
同センターでは、小規模作業所運営のほか、心の病いのかたやその家族への相談業務を行い、どなたでも利用できる地域交流の場を目指しています。皆さんのご理解とご協力を願います。
回 障害福祉課(☎38-2043)

芦屋公園テニススクール受講生募集
回&回 4月7日～毎週水曜日 Aコース(入門・初級)9時30分～11時 Bコース(初級・中級)11時10分～12時40分、各10回 費各20人(抽選) ☎15,000円(10回分)
回&回 3月23日(水)17時までに、芦屋公園テニスコート受付係(☎34-8886)

催し

児童センターの催し
回&回 上宮川文化センター(☎22-9229)【児童センター/映画会】
回 3月29日(火) 10時30分～11時33分 14時～15時03分 回 アニメ「ゼロ弾きのゴースト」 費各100人 回 直接会場へ【歌声ひろば発表会】
回 3月30日(水)4時～15時 回 私からの愛の歌「星に願いを」ほか 回 直接会場へ

森から学ぼう!!「育まれる六甲のみどり」
回 3月21日(月)13時～17時 回 総合公園 回 「全国育樹祭」イベント 育樹祭や六甲山系パネル掲示 親子で土流体験装置体験 自然素材の木工教室 回 阪南県民局地域振興部農林課(☎06-4869-6029)

講習・講座

「源氏物語」原典を読む講座
回 3月28日(月)10時～12時 回 市民センター401室 回 京都橋女子大学教授・鈴木紀子氏 ☎7700円(1回分) 回 直接会場へ 回 谷崎潤一郎記念館(☎23-5852)

平成17年度ACA英会話教室
回 4月8日から毎週水曜日、10時～11時30分 回 国際交流協会(ACA) 回 高校1年生程度の英会話 費18人 回 キャサリン・グッドウィン氏 月額・5,500円(4～7月分前納)と年会費・2,000円 回 国際交流協会 ☎34-6340 大原町2.6 ラーモール芦屋2階)

3月 テレビ広報番組ガイド

芦屋市広報番組	あしや30	サターデー	放送時間(30分)
芦屋市の動き	芦屋市聖苑オープン		8:00
芦屋市政キララ!	震災復興土地区画整理事業全区域完成		11:30
広報トピックス	集会所トーク これなんやろ?ちょっと昔の生活道具		16:00
震災10周年記念事業にみる「震災の記憶」	「芦屋市犠牲者追悼式」 「タイガー大越スペシャルコンサート」 「忘れない...伝えよう永遠へ」 「美術博物館・米田知子 震災写真展」		22:30

* 3月27日(日)は「J-COMプレビューデー」のため、の放送はありません。
番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006
CATV全般に関する問い合わせ 回 ケーブルネット神戸芦屋 J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

平成17年度の主な事業

事業名	(単位:千円)
(1) 活気あふれる豊かな生活環境づくり 防災訓練・自主防災組織の育成	1,458
1.17あしやフェニックス基金事業	2,000
消防本部庁舎整備事業(基本設計業務)	13,000
災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入	34,811
低公害車普及促進事業	1,908
(2) 健やかでぬくもりのある福祉社会づくり 乳がん検診事業(マンモグラフィ併用)	6,523
普通救命講習会の開催(自動体外式除細動器活用)	295
小学校内保育所設置事業	45,206
介護予防市町村モデル事業	2,464
地域包括支援センター設置準備	3,500
(3) 人と文化を育てるまちづくり 義務教育情報機器活用事業	48,960
精進小学校校舎等改築工事	742,833
各小学校図書室空調機設置工事	8,220
山手中学校障害児対策施設(エレベーター等)整備事業	150,000
子育てセンター運営事業	11,304
国民体育大会リハーサル大会開催経費	114,792
(4) 快適でうるおいのある都市づくり 都市緑化(庭園都市)推進事業	6,000
花と緑の推進事業	11,396
都市計画道路街路事業(山手幹線)	719,592
南芦屋浜地区道路整備事業	1,183,300
南芦屋浜地区都市公園整備事業	126,000
(5) 市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり 市民参画・協働推進の指針 検討会議の設置	502
市民参画・協働推進の仕組みづくり策定業務	3,000

「潮芦屋げんき足湯」オープン



新しいまちづくりが進んでいる潮芦屋(南芦屋浜)に、県企業庁が「阪神・淡路大震災の10周年記念事業」として、地域住民の皆さんの憩いの場になればと、温泉を利用した「潮芦屋げんき足湯」をオープンしました。
利用時間は、午前10時から午後4時までです。お気軽にご利用ください。



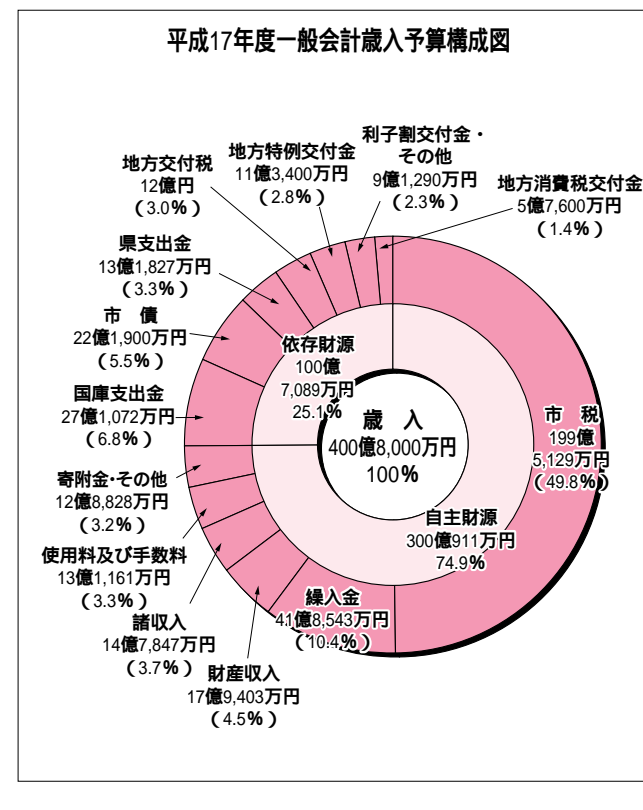
問い合わせ 都市計画課 ☎38-2073

平成17年度 予算案概要

「一般会計」
一般会計の予算額は、四百億八千万円、前年度に比べて七億六千万円、九パーセントの減少となっています。増減要因の主なものは、高浜用地的処分に向けた宅地造成事業、特種別会計の設置に伴い、繰入金金の増加があります。一方で人員費の減少や、南芦屋浜地区整備事業費や街路事業費の減少、および前年度の市債借入金金の借換えがなくなりましたことによる公債借入金金の返済の減少があります。しかしながら、公債負担そのものは依然として高い水準となっており、引き続き多額の財源不足が生じており、依然として相当額の基金を取り崩して、前年度に比べて約四億四千万円の減少となっていますが、引き続き多額の財源不足が生じており、依然として相当額の基金を取り崩して、前年度に比べて約四億四千万円の減少となっています。

財政再建を着実に進める予算

「一般会計」
歳入のうち最も多いのは市税です。市民の皆さんや事業者から納めている税金で、全体の四九・八パーセントを占めています。わずかながら前年度を上回ったものの今後とも大幅な伸びは期待できない状況となっています。
次に多いのは繰入金で、前年度に比べて約十九億四千万円の大幅な増加となっています。これは、宅地造成事業特別会計の設置に伴い、会計間処理特別会計の資金のやり取りに要する経費が増加したことによるものです。また、繰入金のうち市の貯金である基金の取崩しについては、前年度に比べて約四億四千万円の減少となっていますが、引き続き多額の財源不足が生じており、依然として相当額の基金を取り崩して、前年度に比べて約四億四千万円の減少となっています。

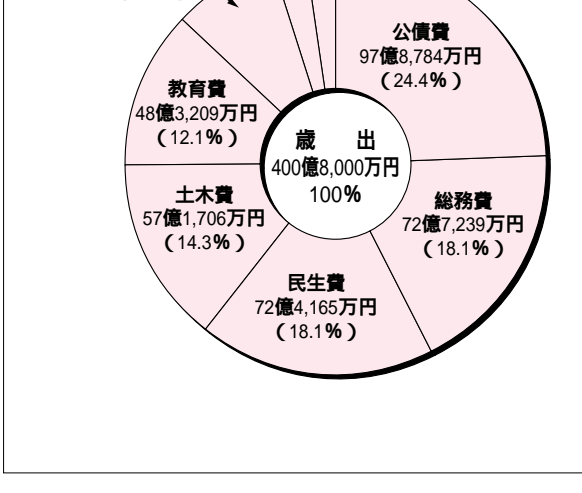


「歳入」
歳入のうち最も多いのは市税です。市民の皆さんや事業者から納めている税金で、全体の四九・八パーセントを占めています。わずかながら前年度を上回ったものの今後とも大幅な伸びは期待できない状況となっています。三番目に多いのは国庫支出金で、前年度に比べて約六億一千万円の減少となっています。これは、投資的事業の減少や、国の補助金改革に伴う影響によるものです。

「歳出」
歳出では、公債費が最も多くを占めています。前年度に比べて約一十三億三千万円の大幅な減少となっているものの、これは前年度に比べて市債の借換えによる増加要因がなくなりましたことによるもので、この要因を除いた実質的な減少率は一・五パーセントにとどまっております。依然として借入金の返済が本市の財政を大きく圧迫しています。

「歳出」
歳出のうち最も多いのは公債費です。前年度に比べて約一十三億三千万円の大幅な増加となっており、このうち宅地造成事業特別会計への繰出金の増加が約三十三億三千万円となっており、これが増加要因のほとんどを占めています。

「歳出」
歳出のうち最も多いのは公債費です。前年度に比べて約一十三億三千万円の大幅な増加となっており、このうち宅地造成事業特別会計への繰出金の増加が約三十三億三千万円となっており、これが増加要因のほとんどを占めています。三番目に多いのは民生費で、新設の民間保育所にかかる経費等の増加により前年度に比べて約三千万円の増加となっています。



「歳出」
歳出のうち最も多いのは公債費です。前年度に比べて約一十三億三千万円の大幅な増加となっており、このうち宅地造成事業特別会計への繰出金の増加が約三十三億三千万円となっており、これが増加要因のほとんどを占めています。三番目に多いのは民生費で、新設の民間保育所にかかる経費等の増加により前年度に比べて約三千万円の増加となっています。土木費については、主に南芦屋浜地区整備事業や街路事業費などの減少で前年度に比べて約十八億六千万円の減少となりました。

「歳出」
歳出のうち最も多いのは公債費です。前年度に比べて約一十三億三千万円の大幅な増加となっており、このうち宅地造成事業特別会計への繰出金の増加が約三十三億三千万円となっており、これが増加要因のほとんどを占めています。三番目に多いのは民生費で、新設の民間保育所にかかる経費等の増加により前年度に比べて約三千万円の増加となっています。土木費については、主に南芦屋浜地区整備事業や街路事業費などの減少で前年度に比べて約十八億六千万円の減少となりました。教育費は、精進小学校校舎整備事業や山手中学校校舎整備事業費(障害者用エレベーター設置等)の増加により、前年度に比べて約六億二千万円の増加となっています。

二月二十五日開会の市議会に提案しました平成17年度予算案の概要をお知らせします。
市の予算は、一般会計、特別会計、企業会計、財産区会計の四種類の予算で構成されています。一般会計は、「みどり処理、住宅や道路・公園の整備、教育、福祉などに使われる行政運営の基本的な予算といえます。また、特別会計は、一般会計とは別に特定の収入・支出を一般のものとは区別して別個に処理するための予算です。
これらの会計すべてを合わせると、本市の予算総額は八百十六億六千四百円となり、この予算で市民の皆さんの生活に必要な事業を行っていくこととなります。
市の代表的な予算である一般会計の予算案についてご説明します。

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	400億8,000万円	1.9
特別会計	316億5,760万円	30.6
国民健康保険事業	77億9,200万円	17.1
下水道事業	38億円	1.8
公共用地取得費	34億8,000万円	212.7
都市再開発事業	2,200万円	4.3
老人保健医療事業	83億 100万円	1.2
駐車場事業	2億9,560万円	2.4
介護保険事業	46億4,600万円	9.8
宅地造成事業	33億2,100万円	皆増
企業会計	89億5,494万円	7.2
病院事業	59億4,227万円	0.6
上水道事業	30億1,267万円	18.0
財産区会計	9億 910万円	4,491.4
合計	816億 164万円	9.2

市民1人当たりの市税収入は220,676円、市民1人当たりに使われるお金は443,313円(財源内訳...市税220,676円、繰入金46,294円、国庫支出金29,983円、市債24,544円、地方交付税13,273円、その他の収入108,543円)

公債費	総務費	民生費	土木費	教育費
108,261円	80,438円	80,098円	63,235円	53,446円
衛生費	消防費	議会費	諸支出金	商工費
35,838円	11,665円	4,417円	2,754円	1,603円
予備費	農林水産業費	労働費	災害復旧費	
1,106円	184円	180円	88円	
				合計
				443,313円

* 市民1人当たりに使われるお金は、それぞれの歳出額を平成17年1月1日現在の推計人口(90,410人)で割った額です。

「下水」の水質検査結果

項目	平成17年1月19日(水)		平成17年2月2日(水)		活性汚泥法処理による基準
	検	候	晴	曇	
天候	晴	晴	晴	曇	
検水名	流入水	処理水	流入水	処理水	
水質	16.8	17.2	15.8	17.3	
P	7.5	6.8	7.8	6.7	5.8~8.6
S	118	0	73	4	70以下
B O D	135	1.4	135	2.6	20以下
大腸菌群数	39,000	0	32,000	0	3,000以下
備考	前日晴れ	前日晴れ	前日晴れ	前日晴れ	

用語の説明【P】水素イオン濃度。酸性度を示し7が中性。7より大きいほどアルカリ性が、小さいほど酸性が強【B O D】不溶性の固形物。水質汚染の原因になる【B O D】生物化学的酸素要求量。数値が高いほど有機物が多い。

スプリング・コンサート

～今、やすらぎの中で...
日時 4月16日(土)午後1時30分～3時 会場 市民センター音楽室
出演 明日香部(元宝塚歌劇団) 福島洋(ピアノ) ゲスト:大阪音楽大学名誉教授・小橋操
曲目 パラ色の人生ほか 参加費 500円 申し込み 4月2日(土)までに、往復はがきに参加者全員の氏名・住所・電話番号を記入し、下記へ
問い合わせ 公民館 ☎35-0700 (〒659-0068 業平町8-24)

芦屋川カレッジ 高齢者大学 第22期生募集

日程 5月11日～平成18年3月15日、毎週水曜日。全員が受講する「必修コース」(36回)午後10時～11時30分、3週間に1回の「選択コース」(15回)午後1時15分～2時45分 定員 100人(あしや元気学コース50人、多文化共生コース50人) 資格 芦屋市在住60歳以上で初めて受講するかた 受講料 年間10,000円

芦屋川カレッジ聴講生の募集

資格 芦屋川カレッジ修了生 定員 各コース50人(1コースに限る) 受講料 年間2,700円
問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

芦屋川セカンド・カレッジ

日程 & 内容 <Aコース> 5月16日～平成18年3月20日、第3月曜日。「社会情勢から見る戦後60年」ほか <Bコース> 5月12日～平成18年3月9日第2木曜日、「アジアという世界-南と中央」ほか いずれも午前10時～11時30分、全10回 定員 各コース100人(1コースに限る) 受講料 年間3,000円

会場 市民センター401室ほか

申し込み 往復はがきに、希望事業とコース名 住所氏名 電話番号 年齢 性別 第2希望があればその旨 芦屋川カレッジの申し込みは生年月日を、聴講生とセカンドは修了期を明記し、3月31日(木)<消印有効>までに下記へ
問い合わせ 水道部営業課金担当 ☎2082

水道まめ知識

Q 水道メーターを検計したご使用水量のお知らせで水道料金、下水道使用料、水道料金等を支払うよう請求されましたが?
A 水道部が検計の結果を報告する「ご使用水量のお知らせ」で水道料金等を請求したり、後日集金する場合は、開栓と同時に現地精算いたします。この場合、領収書書きを必ずその場で渡します。ご確認ください。
問い合わせ 水道部営業課金担当 ☎2082